





土研新技術ショーケース2011in東京

## 撮影試験（架装装置の評価）

音響カメラ近傍の動揺（ロール値）を計測した。

音響カメラ近傍の動揺（船速1kt、水深-1.0m、-2.5m、-4.0m、-5.5m、-7.0m）  
音響カメラ近傍の動揺（船速2kt、水深-1.0m、-2.5m）  
音響カメラ近傍の動揺（船速1kt、水深-8.5m、-10.0m）  
音響カメラ近傍の動揺（船速2kt、水深-7.0m）

架装装置（及び艤装用架台）の試作、改造、検証を実施し、船速1ktでカメラ位置水深-10.0m迄の撮影が可能となった。

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

土研新技術ショーケース2011in東京

## 撮影試験（分解能及び位置精度の確認）

分解能及び位置精度を確認した。

分解能の確認方法：供試体（コンクリート平板に疑似クラックを施工）とその撮影画像を比較した。  
位置精度の確認方法：撮影試験時に各撮影水深で同位置に設置した供試体が、作成したモザイク図において、左右（水平）方向にばらつく範囲とした。

供試体（コンクリート平板に疑似クラックを施工）とその撮影画像  
位置精度  
最も左側 最も右側

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

土研新技術ショーケース2011in東京

## 撮影試験結果

- ・架装装置の検証  
架装装置（及び艤装用架台）の試作、改造、検証を実施し、**船速1kt**でカメラ位置水深-10.0m迄の撮影が可能となった。
- ・分解能  
撮影画像の分解能は、供試体の撮影画像と疑似クラックの比較から、約**3cm**の分解能を確認しており、潜水士の目視による判断程度を確保している。
- ・位置精度  
モザイク図作成における個々の撮影画像の位置関係について、各改善により、位置精度は**10～20cm程度**となった。

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

土研新技術ショーケース2011in東京

## 撮影試験結果

以上より、音響カメラを用いて撮影した画像の分解能は、**潜水士の目視による判断程度を確保**しており、港湾及び漁港施設における水中構造物の健全度診断において、音響カメラを使用した点検手法は有効である。

この点検手法は、港湾及び漁港施設における現地調査項目のうち上部工、本体工の**自視調査**に適用できる。

現地調査項目（例：「港湾の施設の維持管理技術マニュアル」による）

施設種別	点検項目／点検施設	点検方法
重力式係船岸	上部工	コンクリートの劣化、損傷 <b>目視調査</b> ・ひび割れ、剥離、損傷 ・鉄筋露出 ・劣化の兆候
	本体工	コンクリートの劣化、損傷 <b>目視調査</b> ・ひび割れ、剥離、損傷 ・鉄筋露出 ・劣化の兆候

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

土研新技術ショーケース2011in東京

## 施工方法

これまでの撮影試験で本技術の施工フローを確立した。

```

graph TD
    A[機材搬入] --> B[架装装置及び艤装用架台設置 機器取付]
    B --> C[撮影・計測（テストラン）]
    C --> D[撮影・計測]
    D --> E[架装装置及び艤装用架台撤去 機器取外]
    E --> F[報告書作成]
  
```

機材搬入  
架装装置及び艤装用架台設置 機器取付  
撮影・計測（テストラン）  
撮影・計測  
架装装置及び艤装用架台撤去 機器取外  
報告書作成

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

土研新技術ショーケース2011in東京

## 施工方法

これまでの撮影試験で本技術の施工フローを確立した。

```

graph TD
    A[機材搬入] --> B[架装装置及び艤装用架台設置 機器取付]
    B --> C[撮影・計測（テストラン）]
    C --> D[撮影・計測]
    D --> E[架装装置及び艤装用架台撤去 機器取外]
    E --> F[報告書作成]
  
```

機材搬入  
架装装置及び艤装用架台設置 機器取付  
撮影・計測（テストラン）  
撮影・計測  
架装装置及び艤装用架台撤去 機器取外  
報告書作成

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

**土研新技術ショーケース2011n東京**

**確認試験**

前項の施工方法にて、実運用を見据えた現地試験を実施した。

実施箇所 … 種内港第1埠頭地区岸壁（-5.0m）

平面図（上）、縦断面図（下）

横断面図

2011/9/30

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

**土研新技術ショーケース2011n東京**

**確認試験（調査結果）**

潜水調査による点検結果

○印は、モザイク欠損箇所。海底地圖は参考値

モザイク図を使用した点検報告書（案）

2011/9/30

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

**土研新技術ショーケース2011n東京**

**確認試験（調査費の比較）**

日当り撮影面積を算出するため、撮影区間、撮影回数を決定した。

作業形態

撮影パターン

調査時間(秒)	航路長(m)	航路幅(m)	航路面積(m <sup>2</sup> )	航路密度(回/m)	航路数
2	940.24	0.9422	241 241 180	0.002	1
3	940.23	0.9311	238 218 180	0.002	1
4	940.23	0.9301	180 160 180	0.002	1
5	940.23	0.9272	180 160 180	0.002	1
6	930.06	0.9321	73 73 180	0.002	1
7	930.22	0.9310	133 133 180	0.002	1
8	930.22	0.9301	133 133 180	0.002	1
9	930.23	0.9301	133 133 180	0.002	1
10	930.23	0.9301	276 276 180	0.002	1
11	130.00	1.130.00	250 250 180	0.002	1
12	130.00	1.130.00	250 250 180	0.002	1
13	130.00	1.130.00	241 241 180	0.002	1
14	140.00	1.140.00	237 237 200	0.002	1
15	140.00	1.140.00	130 130 200	0.002	1
16	140.00	1.140.00	130 130 200	0.002	1
17	140.00	1.140.00	130 130 200	0.002	1
18	150.00	1.150.00	248 248 200	0.002	1
19	150.00	1.150.00	351 351 200	0.002	1
20	150.00	1.150.00	351 351 200	0.002	1
			123.96		
			712.29		
			0.022,124.800~1600		

0.022,124.800~1600

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

**土研新技術ショーケース2011n東京**

**確認試験（調査費の比較）**

日当り調査面積を下記のとおり算出した。

潜水調査（従来の水中構造物点検方法）  
1,200 m<sup>2</sup>/2人・日  
維持管理計画書策定のための現地調査費（暫定案）  
：国土交通省による

撮影調査（港湾構造物水中部劣化診断装置）  
(撮影幅) × (撮影区間) × (撮影回数)  
1.5 m × 150 m × 17 回/日  
=約3,800 m<sup>2</sup>/日

但し、海象条件や航行状況、架装装置の振動などの影響で撮影画像や計測データが後の画像解析ソフトウェアでの処理に適さないと判断される場合は再測を行い、これらの時間的損失で撮影面積は減少する場合がある。

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

**土研新技術ショーケース2011n東京**

**確認試験（調査費の比較）**

潜水調査（従来の水中構造物点検方法）と撮影調査（港湾構造物水中部劣化診断装置）について各調査費（直接業務費）を算出した。

潜水調査

撮影調査

潜水調査

撮影調査

計画準備 → 事前協議 → 機材運搬 → 潜水調査 → 報告書作成

計画準備 → 事前協議 → 機材運搬 → 撮影調査 → 報告書作成

架装装置等の運搬を含む。

架装装置・講装用架台設置・撤去、機器取付・取外等、撮影1回当たりに必要な費用(固定費)がかかる。

画像解析ソフトウェアを使用

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

**土研新技術ショーケース2011n東京**

**確認試験（調査費の比較）**

従来の点検方法（潜水調査）と本技術（撮影調査）の調査費、所要日数を比較した。

直接受託料 (円)

約12,000m<sup>2</sup>

撮影面積 (m<sup>2</sup>)

約5,000m<sup>2</sup>

所要日数 (日)

撮影面積 (m<sup>2</sup>)

約5,000m<sup>2</sup>

CERI 独立行政法人 土木研究所 審査土木研究所

2011/9/30

## まとめ

・撮影画像の分解能は、供試体の撮影画像と疑似クラックの比較から、約3cmの分解能を確認しており、潜水士の目視による判断程度を確保している。

・モザイク図作成における個々の撮影画像の位置関係について、各改善により、位置精度は10～20cm程度となった。

・港湾構造物水中部の劣化状況（経年変化）が監督員の目で見ることができ、的確な健全度判断が可能となり、ストックマネジメントを進める上で必要な情報を得ることが可能となった。

・施工費を試算した結果、本技術は撮影1回当たりに必要な費用（固定費）が割高であるが、撮影1日当たりの調査面積が大きく、業務当りの調査面積が大きければ全体的な施工費は潜水調査に比べ安価となつた。